



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発責 組織情宣部
2024年2月9日 No.723

第11回中央委員会を開催



2024春闘要求決定！

第13回定期大会までの活動方針を確立！

東日本ユニオンは2月7日、東京都「北とぴあ」において「第11回中央委員会」を開催しました。「第12回定期大会」以降の取り組みを総括し、2024春闘をはじめとする向こう半年間の活動方針など、すべての議案が満場一致で承認されました。

質疑では「安全の確立」「2023年度年末手当の取り組み」や「組織拡大の実現」「会社諸施策に対する取り組み」など、職場からの取り組みにおける大きな成果と課題が語られ、私たちの運動を通じて組織が強化されたことを実感できる発言により、活動方針が補強されました。

「第11回中央委員会」で確立した方針のもと、さらに東日本ユニオンの団結力を強化し、JR労働者と共に2024春闘の勝利に向けて、全組合員で統一行動に挑んでいくことを確認しました。

2024春闘の勝利に向けて 全組合員で闘いに挑む！

委員会宣言 (案)

本日、私たちは東京都「北とびあ」において「第11回中央委員会」を開催し、2024春闘や組織の強化・拡大の取り組みなど、当面する活動について満場一致で確認した。

2024年元日の16時10分頃に石川県、能登半島で発生した最大震度7の地震は、北陸・上越新幹線の一部区間や新潟支社管内などの多くの鉄道設備に被害をもたらした。また、被災された組合員やご家族の方も多くいる。東日本ユニオンは、この間、培ってきた仲間の絆をさらに強く紡いで支え合っていこう。

2024年1月23日、東北新幹線の上野・大宮駅間で発生した電力設備故障により復旧作業中の作業員2名が受傷する事故が発生した。この設備故障は終日、東日本管内の新幹線ダイヤが乱れる大規模な輸送障害となった。安全・安定輸送を最大の使命としつつ、お客さまの命を守り、JR労働者の死亡事故・重大労災事故のすべてを撲滅するために、あらためて安全について議論をつくりだしていくことが求められている。

JR東日本は1月31日に「2024年3月期第3四半期決算」を発表した。通期業績予想を上方修正する内容であり、連結・単体ともに好業績を上げている。その要素の一つには、お客さまのご利用状況が着実に回復したことから、大幅な増収・増益へとつながったということもあるが、様々な会社の施策の導入に伴って社員の業務量が増加している中でも、一人ひとりがその働き方に応え、奮闘した結果であることは間違いない。

社員一人ひとりが、日々お客さまの安全を守り、サービスの向上を目指して、取り組んでいることで会社が持続的に発展していることを、経営側は直視するべきだ。

現在の当社の賃金水準は生活必需品の相次ぐ値上げなどの歴史的物価高騰に追いついていない。東日本ユニオンは社員が安心した人生設計や将来を考えることのできる賃金を求めている。安定した生活ができる賃金を勝ちとっていかうではないか。

この間、各地の職場から東日本ユニオンにJR労働者の多くの声が寄せられてきた。それは労働組合に所属していない社員のみなさんの本音であり、この間の「昇給係数2」という賃金改定や期末手当の支給額に対する不満や悲痛な叫びでもあった。一方、東日本ユニオンへの期待や賛同など、寄せられる「声」も多くなり「組織拡大」も実現してきた。

この成果を自信に変えてJR労働者の団結と熱意で2024春闘の勝利を掴み取ろう。

私たち東日本ユニオンは、結成して10年を迎えた。

全組合員で新たな東日本ユニオンの10年先を見据え、明るく未来ある組織へと発展させていくために奮闘しよう。

以上、宣言する。

2024年2月7日

JR東日本労働組合
第11回中央委員会